

社会福祉法人新宿区社会福祉協議会部会規程

(目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人新宿区社会福祉協議会（以下「協議会」という。）定款第20条第3項の規定に基づき、部会について必要な事項を定めることを目的とする。

(部会)

第2条 部会は、地区部会と推進部会の2部会とし、地区部会は新宿区内を2出張所ごとに5分割した地区ごとに設置し、推進部会は地区部会の委員代表等による協議体とする。

(所掌事項)

第3条 前条の各部会は、理事会の補助機関として、概ね下記に列挙する事項について調査研究を行い、必要に応じて所掌事項にかかわる事業を執行する。

(1) 地区部会

- ア 地区における暮らしのサポート事業の推進
- イ 地区における地区パートナー制度の推進
- ウ 地区におけるボランティア・地域活動サポートコーナーの運営推進
- エ その他地区における課題解決に関すること

(2) 推進部会

- ア 各地区部会の協議内容、事業進捗状況に関すること
- イ 経営計画に基づく事業執行管理に関すること
- ウ 協議会の事業実施における課題解決に関すること
- エ その他、必要と認める事項

(構成)

第4条 各地区の部会員は10名以内、推進部会は15名以内とし、その内各地区部会の委員はそれぞれ2名以内とする。

2 委員は、理事、評議員、行政関係者、会員及び学識経験者、その他会長が必要と認めた者の中から会長が委嘱する。

(任期)

第5条 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

2 理事、評議員及び行政関係者の中から委嘱された委員の任期は、前項の規定にかかわらず当該役職に在任する期間とする。

3 補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(部会長・副部会長)

第6条 部会には部会長1名、副部会長1名を置く。

2 推進部会の部会長は、協議会役員の中から委嘱された委員をもって充て、副部会長は委員の互選によって選ぶ。

3 地区部会の部会長、副部会長は委員の互選によって選ぶ。

4 部会長は、部会を代表し、会務を統括する。副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(部会議)

第7条 地区部会は、必要に応じて地区ごとに会議を開き、推進部会は、定期に又は必要に応じて会議を開く。

2 部会議は、部会長が召集し、議長となる。

3 部会長は、部会議を開いたときは、別に定める様式により会議要録を作成するものとする。

4 常務理事及事務局長は、部会議に出席して意見を述べることができる。

(報告)

第8条 部会長は、部会の活動状況を理事会に報告しなければならない。

(庶務)

第9条 部会の庶務は協議会事務局において処理する。

附 則

1 この規程は、平成3年9月4日から施行する。

2 昭和55年4月1日施行の新宿区社会福祉協議会部会規程は廃止する。

附 則

(施行期日)

この規程は、平成14年6月28日から施行し、平成14年3月15日から適用する。

(社会福祉法人新宿区社会福祉協議会定款の変更に伴う関係規程の整備に関する規程

第1条)

附 則

この規程は、平成14年11月1日から施行する。

付 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。